

平成22年度 入札監視委員会議事概要

北海道防衛局・帯広防衛支局

開催日及び場所	平成22年 9月 7日 (火) 北海道防衛局4F会議室		
委員	阿座上委員長(地域経済研究所理事長) 神谷委員(北海道教育委員会委員長) 菊地委員(大学教授) 齋藤委員(弁護士) 杉下委員(公認会計士・税理士)		
審議対象期間	平成22年 4月 1日 ~ 平成22年 7月31日		
審議対象件数	21件		
1 入札状況について(入札参加資格の設定、指名及び落札者決定の経緯等について)			
抽出件数	総件数10件	(審議概要) ・局担当者から契約状況、指名停止、低入札状況の説明 ・対象件数より抽出した10件の概要について局担当者が説明、委員による審議	
建設工事	一般競争(政府調達協定対象)		0件
	一般競争(政府調達協定対象外)		3件
	公募型指名競争		0件
	指名競争		0件
	企画競争		0件
	随意契約		0件
建設コンサルタント業務等	7件		
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	意見・質問	回答	
	<p>【指名停止状況説明】 ・特になし。 【低入札状況説明】 ・特になし。</p> <p>【抽出案件】 ○建設工事等(北海道局) 一般競争入札方式(政府調達協定対象外)</p> <p>a [平成22年度千歳飛行場周辺地区撫育管理等工事]</p> <p>・特になし。</p> <p>簡易公募型競争入札方式</p> <p>a [北海道防衛局(22)資材価格調査]</p> <p>・特になし。</p>		

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>公募・簡略審査型競争入札方式</p> <p>a [北千歳外(22)ボイラー施設整備等測量調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までも一般的に、調査とか設計業務の落札率は低く、理由として人件費の抑制とか考えられるが、落札率が55%となると根本的な理由として、何が考えられるか。 ・公募型競争入札の場合、実績がないと今後ずっと参加できないという課題がある。 <p>b [札幌(22)病院新設地質調査]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この事案は、落札率は低いが他の案件と比べ参加者が15社と多い、考えられる理由は何か。 ・低入札価格の問題については、デフレを助長させる現象であるので、新しい入札方式等を考えないと、解消されないものと思われる。 ・全国レベルの学会等において、問題事項等の研究及び検討をしなければならない状況と思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・この業務については、低入札価格調査の対象ではないが、聞き取りをしたところ、防衛局発注業務の受注実績を作ることも視野に入れ、価格を抑えて入札したとのことであった。 ・地質調査は、昨年あたりから民間発注業務も含め事業量が少なくなっていると聞いている。このことから、多少無理をしても受注のチャンスがあれば、応募するとのことである。 また、当局の地質調査業務は、毎回十～二十社程度の応募がある。

	意見・質問	回答
<p>○委員からの意見・質問</p> <p>○それに対する回答等</p>	<p>c [奥尻(22)ボイラー施設新設等建築設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加業者が1社であるが、公募で他の参加者はわからないのか。 ・1社でも落札率が81%と競争原理が働いている。 ・1社応札の考えられる理由はなにか。 <p>d [旭川外(22)保管庫新設等建築設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし <p>○建設工事等（帯広支局） 一般競争入札方式（政府調達協定対象外）</p> <p>a [平成22年度矢臼別演習場外緑地整備事業撫育管理工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している工事か ・参加業者はいつもこの2社か ・辞退した会社は地元の会社かまた、辞退理由は何か <p>b [平成22年度矢臼別演習場周辺地区緑地整備撫育管理工事]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先ほどの事案と内容が違うのか 	<ul style="list-style-type: none"> ・電子入札の場合、公募でも入札参加者は、自社しかわからない。 ・離島は移動等の時間、拘束される時間の長さ等から全国的に人気がなく、都心等の近場の仕事が優先されると思われる。 <ul style="list-style-type: none"> ・毎年実施している。 ・工事場所が道東の演習場であり、工事を実施できる業者数が少ないことから、参加者がいる程度固まってしまう。 ・函館方面の業者で、辞退理由は、他の事案を受注したため、技術者を配置できないためとのことであった。 ・前事案は、矢臼別演習場と遠軽演習場の植林及び草刈り事業で、こちらは、矢臼別演習場の周辺地区を牧草育成の場所として管理している土地の土壌改良等実施する事業である。

	<ul style="list-style-type: none"> ・低入札価格調査の結果はどうであったか。 <p>c [帯広(22)連隊庁舎新設建築設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・落札率が24%だが、Aランク業者か ・先ほどの奥尻建築設計を落札した業者で、あまりにも価格が低いと、審査だけでなく制度そのものに疑問が出てくる。個別に調査したのか。 ・正常な取引という概念に該当するか非常に気になるが、公共事業の一つの点は、技術者の養成や、地域産業の振興も含めていろんなことがあり、単に価格競争だけでない視点もあると思うが、健全な業界の育成になるのか、疑問である。 ・低入札の業務で今まで何か不都合とかあったか。 ・完成品の検査は十分な体制か。 <p>d [根室(22)通信線路整備通信その他調査設計]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取り等調査した結果、当該工事に多くの実績があり、工事に関するノウハウを持っていること、更に、自社所有の機械、オペレーターも職員が実施し、下請け等の必要もないことから、この価格で応札したとのことであった。 ・Aランクである。 ・低入札価格調査対象ということで、適切な契約履行が可能かどうか業務体制、実施方針等の内容を確認、調査したところ、問題はなかった。 ・防衛局の業務実績を是非作りたく、今回の入札金額になったとのことであった。 ・会社として財務状況等も特に問題は無かったため、契約履行可能と判断した。 ・装備施設本部において、施工成績が悪くなる可能性があるとのこと、追跡調査を実施したところ、他の事案と比較して、顕著な傾向は得られなかったと会議で報告があった。 ・低落札事案については、各監督がよく審査し、担当課長が最終的に検査し確認する。
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>[意見の具申等]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 	<p>[回答]</p>

2 談合疑義案件(内訳明細書の点検結果疑義)の処理状況について			
	談合疑義件数	－件	(審議概要) ・該当案件なし
工事	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
業務	談合情報	－件	
	点検結果疑義	－件	
委員会による意見の具申又は勧告の内容		[意見の具申等]	[回答]
3 入札結果の事後的統計について			
審議概要		・順位傾向、落札率、応札率、低落札について説明	
		意見・質問	回答
○委員からの意見・質問		[順位傾向] ・特になし。	
○それに対する回答等		[落札率・応札率] ・特になし。	
		[低落札] ・特になし。	